児童に見られるつまずき

　目的に応じた小見出しを作り、自分の考えと区別して説明する文章を書くことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　キーワードから小見出しを作り、グループで吟味する活動を通して、文全体からキーワードを見つけて目的に応じた小見出しを書けるようにする

指導事例集ｐ．６７

１　学年・単元名　　第５学年　「和の魅力リーフレット」を作ろう

『和の文化を受けつぐー和菓子をさぐるー』（書くこと領域）

２　単元目標

　　　集めた情報を用いて、和の文化の魅力を表した小見出しとその説明が入った「和の魅力リーフレット」を書く。

３　単元の内容

　　・和の魅力を見つけ、その魅力をまとめたリーフレットを作成するという単元の見通しをもつ。

資料：教師作成言語活動のモデル

　　・魅力の見つけ方、リーフレットの書き方を学ぶ。

資料：ワークシート①②

記入済みワークシート①②

　　・リーフレットを交流し、単元を振り返る。

資料：児童の成果物

４　本時の目標

　「ほかの文化との関わり」における和菓子の魅力を見つけ、年中行事や茶道との関わりを押さえたリーフレットの小見出しを書くことができる。

参考：板書

５　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導・支援の留意点と評価（☆）**太字：つまずきに対する手立て** |
| １　学習の課題を知る。「ほかの文化との関わり」における和菓子のみりょくの小見出しをつけよう！２　一人学びをもとに、「ほかの文化との関わり」における「和菓子のみりょく」を発表する。３　見つけた「和菓子のみりょく」に、リーフレットにのせる小見出しを付ける。・年中行事や茶道と結び付いている和菓子・年中行事と結び付いている和菓子・人々の願いや思いがこめられている和菓子・茶道とも深い関わりがある和菓子・季節の味わいを楽しむ和菓子　４　本時のまとめをする。 | ・本時のめあてを確認させる。・発表の際には、一人学びのワークシートをもとに発表させるが、ワークシートにとらわれすぎないようにさせる。記入済みワークシート①使用・教科書にもどって考えさせるようにする。・ほかの文化が年中行事と茶道であることを押さえる。・**なぜ、魅力に感じたのかも「みりょく」の定義（惹きつける・値打ちがある・他とちがう）を参考に発表させる。**・友達の考えと自分の考えを比べて聞けるように意識させる。・友達の意見を聞いて、自分の意見が変わってもいいことにする。・和菓子の良さを視覚的に感じさせたい。・和菓子は四季や季節の味わいを大切にしていることを押さえる。・本論の「ほかの文化との関わり」の魅力に着目し、見出しを全員が書くようにする。・**「～和菓子」となるように見出しを付ける。**ワークシート②使用・見出しは、短い言葉で相手を惹きつけるようなものになるように助言する。・グループで話し合い、その中でいいなと思ったものを理由と共に発表する。**・キーワードの見つけ方を参考に話し合うよう助言する。**・最後にもう一度自分の考えた見出しを推敲する。☆和菓子の魅力を見つけ、その魅力が伝わるような見出しを書いている。・今日の振り返りを書かせる。・次時に、「和のみりょくリーフレット～和菓子編～」の「ほかの文化との関わり」のページを少しずつ完成させていくことを伝える。 |

６　つまずきの解消に向けて

　（１）単元における予想されるつまずき

　　　①本単元内のつまずき

・和の文化の魅力を見つけ、それに対する理由を書くこと。

・「歴史」「他の文化との関わり」「支える人々」における文の内容を的確におさえ、リーフレットにまとめること。

　　　②これまでのつまずき

　　　・自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成を考えて書くこと。

　　　・引用したり、図表やグラフ等を用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

　（２）つまずき解消に向けた指導上の留意点

　　　・魅力の定義を明確にし、「もし～がなかったら・・・」「〇〇があることで、～になった」など、理由を述べる際の文例を提示する。

　　　・リーフレットにまとめる際には、文だけでなく、写真や図表も効果的に使いながら書かせる。

　　　・掲示物で学習の見通しや、学習したことを振り返ることができるようにする。